

# あつまれ！うみとも！！

8月29日（土） ～ 8月30日（日）

IN 明石市立少年自然の家、高砂青年の家

	午前	午後	夜
1日目	施設まで移動	海遊び	施設へ移動
2日目	清掃・海遊び	施設を出発・解散	

一日目： 各集合場所に集合した後、今回はバスで施設に向かう組と電車で施設に向かう組と二手に別れて出発します。施設に到着後、ようやく全員集合です。グループ分けをした後、待ちに待ったお昼ご飯です。初めましてのお友達と緊張しながらも会話が弾みます。昼食後は水着に着替えて、ライフジャケットを着ていよいよ海プログラムスタートです。海では、2つのプログラムを行います。カヌー・カヤック体験は、施設の職員さんから教わります。パドルの漕ぎ方、カヌー・カヤックへの乗り方、降り方と覚えることがたくさんです。教わった後は、待ちに待った出発です。各艇にそれぞれ乗り込み、出発しました。初めは、波の揺れを感じ強張った表情も見受けられましたが、徐々に慣れてくると笑顔が溢れてきました。複数人で乗っている艇は、声を合わせて頑張ります。一人乗りの艇は、一人で漕ぐ分寂しさはありつつも、自分の行きたいところへ縦横無尽です。明日は、レベルアップして沖へと繰り出します。もう1つのプログラムは、ジャンボタライです。大きなタライに乗って遊びます。グループのみんなに押さえてもらい、一苦労して乗りますが、バランスを取るのがとっても難しくひっくり返ってしまいます。それでも何度も挑戦しては、ひっくり返ってだんだんバランスが取れるようになっていました。ジャンボタライと同時にグループでの海遊びも行います。沖の方へと泳いでいったり、ワカメを集めたりとグループそれぞれの個性が溢れた海遊びになりました。海から上がる時間になり、施設に戻って片付けを行います。片付けの仕方もしっかり施設の方に教わり、一人一人が行なっていく様子。分からないことは、グループで助け合いながら行きました。片付け終了後は、今日の振り返りをします。明日に向けて、今日はどんなことができるようになったのか、明日はどんな風に漕げるようになっていたか、グループでしっかり話し合います。振り返りが終われば夜ご飯です。本日のメニューはカレーライス。たくさん動いたのでお腹がペコペコです。たくさんおかわりをして完食しました。お腹を満たして、宿泊の施設へと向かいます。施設到着後は、入浴をしそれぞれの部屋で就寝準備をします。明日のために今日はしっかり休もう。



二日目： おはようございます。今日もとってもいいお天気です。朝からお世話になった施設の片付けをしてから朝食です。朝食は、バックドックを作ります。パンに具材を挟んで牛乳パックに入れてどんな焼き上がりになるのかワクワクドキドキです。焼き上がったからグループごとにいただきます。朝食後は、宿泊施設を出発し活動場所へと向かいます。到着後は、すぐに海に入る準備をします。二日目ともなると準備にも慣れて次々と準備をすることができました。全員の準備が整い、最後の海へと向かいます。カヌー・カヤック体験は昨日よりパワーアップします。一日目は、それぞれが自由に漕いでいましたが、今日は決められた目標へと進みます。進みたい方向になかなか進めず、思い通りに進んでいくためにはたくさん漕ぐしかありません。さあ、力を合わせて頑張りましょう。目標をこなしていくにつれて、段々と思い通りの方向に進むことができる艇が増えてきました。慣れてきた頃に、カヌーカヤック体験は終了です。海遊びでは、ジャンボタライにも乗り慣れてきました。水中鬼ごっこなど、海でしかできない遊びを考えて遊びます。最後の最後までたっぷり海を楽しむことができました。二日間お世話になった指導員の方々にお礼を伝えて片付けをします。片付けも手慣れたものです。片付けを終えると、昼食です。本日の昼食は、ラーメンです。海で遊んだ後のラーメンは格別です。昨日に続きラーメンも完食しました。昼食後は、グループごとに片付けをし、帰るために荷物整理を行いました。帰る時間が着々と近づいています。全体で集まるのはこの施設で最後です。そのため、2日間共に過ごしたお友達とはここで別れです。別れを惜しみながら、電車組とバス組に分かれてそれぞれの解散場所へと向かいました。



## <キャンプ総括>

あつまれ!うみとも!!も二年目となりました。今年は台風の心配もなく、快晴の中行うことができました。昨年よりもパワーアップして二日目は少し離れた沖に繰り出しました。二日間合わせても、二時間未満という限られた時間の中で漕ぎ方を習得していく姿は、子どもの持つパワーをととも感じました。どんどん漕げるようになり、もっともっと漕ぎたい!沖に出てみたい!という気持ちもたくさん感じました。まだまだ『あつまれ!うみとも!!』の可能性を感じた2日間でした。今後ともパワーアップしていきたいと思えます。最後になりましたが、大変な状況の中、ご参加いただき誠にありがとうございました。 (橋本 里佳)